

令和 3年度予算見積調書

課室名：生徒指導課

担当名：総務・登校支援・中退防止担当

内線：6906

(単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | |
|--|--------------------------|------|---|-----|-------|---------|--------------------------|------------|-----|
| B42 | 地域の多様な人材との連携による高校生自立支援事業 | | 一般会計 | 教育費 | 教育総務費 | 教育連絡調整費 | 非行防止対策費 | | |
| 事業期間 | 平成29年度～ 令和 4年度 | 根拠法令 | | | | 宣言項目 | 06 次代を担う人財育成 | SDGsゴール | 4 |
| | | | | | | 分野施策 | 030625 様々な課題を抱える子供たちへの支援 | SDGsターゲット | 4-5 |
| 1 事業概要 | | | 5 事業説明 | | | | | | |
| <p>中途退学者等の多くは、コミュニケーション能力や家庭等に課題を抱えており、自立が出来ていない。このような自立が出来ていない若者が、高校を中途退学することは、社会的な孤立につながる。結果、貧困の連鎖につながるなど課題も多い。そこで、学校と自立支援機関のネットワークを構築し、社会参画・就労を見据えた自立支援指導等を行うことにより、在学中から社会性の育成を図り、就労意欲を醸成し、中途退学の防止へつなげるものである。あわせてやむを得ず中途退学した者についても、フォローアップ出来る体制を整えるものである。</p> <p>(1) 自立支援機関と連携した居場所づくり 29,303千円</p> | | | <p>(1) 事業内容 ア 自立支援機関と連携した居場所づくり 29,303千円 「地域若者サポートステーション」と連携し、多様な経歴を持つ方の力により、1年生を対象に個人指導や社会的自立を促す取組などの各種事業を行い、生徒の自立に必要な社会性や実践的能力を育成する。あわせて、事業を通じて当該機関と学校・生徒の関係性を構築し、学校はもとより、中途退学や卒業後無業となった若者の居場所となる。</p> <p>(2) 事業計画 ア 生徒の特性把握 個人の抱える課題にきめ細かく対応するために、面談指導等を実施し、生徒の特性を把握する。 イ ソーシャルスキルトレーニング コミュニケーション能力の向上を図り、学校生活への意欲を向上させる。(年3回) ウ 体験活動 社会参画に対する興味・関心・意欲の向上を図るために実施する。(定時制：年1日) エ 中途退学に関する相談会の開催 中途退学を考えている生徒又は中途退学してしまった生徒とその家族等を対象に年2回実施する。</p> <p>(3) 事業効果 ア 自立に必要な能力を身に付け、中途退学の防止につなげる。(学校での居場所づくり) イ 地域若者サポートステーションとの連携事業を実施することにより、若者の対人スキル等を育てることができる。 ウ 中途退学者や卒業後無業者を自立支援機関に円滑につなぐことができる。(中退後の居場所づくり)</p> | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円 | | | | | | | | | |
| 予算額 | | | 財 源 内 訳 | | | | 一般財源 | 前年との 対比 | |
| 決定額 | 29,303 | | | | | | 29,303 | △423 | |
| 前年額 | 29,726 | | | | | | 29,726 | | |